

チームラボ、イッカン・アート・ギャラリー（シンガポール）『流れる光、移ろう光景』展に参加。  
新作「花と人、コントロールできないけれども、共に生きる - Dark」を発表。

2015年1月22日（木）～2月18日（水）



#### 【本文】

イッカン・アート・ギャラリー（シンガポール）にて、『流れる光、移ろう光景』展が開催。チームラボは、新作「花と人、コントロールできないけれども、共に生きる - Dark」を発表。期間は2015年1月22日（木）～2月18日（水）まで。

また、2015年1月25日（日）に行われるアーティストトークに、チームラボ猪子が参加します。

流れる光、移ろう光景:<http://ikkan-art.com/moving-light-roving-sight/>

展示詳細：<http://www.team-lab.net/latest/exhibition/movinglight-rovingsight.html>

#### ■出品作品

花と人、コントロールできないけれども、共に生きる - Dark  
**Flowers and People, Cannot be Controlled but Live Together - Dark**

チームラボ, 2015, インタラクティブデジタルインスタレーション, 音楽: 高橋英明



作品 <http://www.team-lab.net/all/art/flowerandpeople-together-dark.html>

この作品は、鏡通路と広い空間により構成された、インスタレーション作品である。作品の花々は、鏡の中、そして、広い空間の壁と床に咲き渡っていく。

作品は、コンピュータプログラムによってリアルタイムで描かれ続けている。あらかじめ記録された映像を再生しているわけではない。

花は、生まれ、成長し、つぼみをつけ、花を咲かせ、やがて、散り、枯れて、死んでいく。つまり、花は、誕生と死滅を、永遠と繰り返し続ける。

花は、鑑賞者のふるまいによって、いっせいに散り、死んでいたり、もしくは、より生まれ、いっせいに咲き渡ったりする。

全体として、以前の状態が複製されることなく、鑑賞者のふるまいの影響を受けながら、永遠と変容し続ける。

今この瞬間の絵は、2度と見るできない。

#### 【開催概要】

##### 流れる光、移ろう光景

会期：2015年1月22日（木）～2月18日（水）

オープニングレセプション：2015年1月22日（木）18:00～21:00

会場：IKKAN ART GALLERY（39 Keppel Rd, Singapore 089065）

開館時間：12:00～19:00

休館日：日曜日、月曜日、祝日

料金：無料

展示アーティスト：チームラボ、ジェニー・ホルツァー、金氏徹平、ヘゲ・ヤング、オリバー・ヘリング、ダグラス・ゴードン、土佐尚子、インビジブル・デザインズ・ラボ

プロジェクター協賛：SONY

URL:[www.ikkan-art.com/moving-light-roving-sight/](http://www.ikkan-art.com/moving-light-roving-sight/)

URL:<https://www.facebook.com/ikkanart>

猪子寿之アーティストトーク

日時：2015年1月25日15:00~16:30

#### ■チームラボとは

プログラマ・エンジニア（UI エンジニア、DB エンジニア、ネットワークエンジニア、ハードウェアエンジニア、コンピュータビジョンエンジニア、ソフトウェアアーキテクト）、数学者、建築家、CG アニメーター、Web デザイナー、グラフィックデザイナー、絵師、編集者など、スペシャリストから構成されているウルトラテクノロジスト集団。アート・サイエンス・テクノロジーの境界線を曖昧にしながら活動中。

カイカイキキギャラリー台北（台湾）で『生きる』展開催（2011）。『LAVAL VIRTUAL』（フランス）にて「世界はこんなにもやさしく、うつくしい」が建築・芸術・文化賞を受賞（2012）。国立台湾美術館（台湾）にてチームラボ「We are the Future」展を開催（2012）。「teamLabBody」がUnity Awards 2013のBest VizSim Projectを受賞（2013）。『シンガポールビエンナーレ 2013』にて、「秩序がなくともピースは成り立つ」を展示（2013~2014年）。「チームラボと佐賀 巡る！巡り巡って巡る展」（佐賀）を開催（2014）。東京駅の商業施設「KITTE」にて、新作「時に咲く花」を常設展示（2014~）。『Art Basel - Hong Kong』（香港）にて、「増殖する生命 - Gold」を展示（2014）。Pace Gallery（アメリカ・ニューヨーク）にて『teamLab: Ultra Subjective Space』を開催、デジタルアート作品 6 作品を展示（2014）。『香川ウォーターフロント・フェスティバル』など香川県内3会場で、ショーとデジタルアート作品を展示する『チームラボと香川 夏のデジタルアート祭り』を開催（2014）。東京都現代美術館（東京）にて人工衛星の実物大模型に高さ 19m の滝をプロジェクトマッピングする「憑依する滝、人工衛星の重力」を発表（2014）。Pace Beijing（北京）のグループ展『We Love Video This Summer』に参加（2014）、『国東半島芸術祭』（大分）にて、新作「花と人、コントロールできないけれども、共に生きる - Kunisaki Peninsula」を発表（2014）、NHK 大河ドラマ「花燃ゆ」のタイトルバックを制作（2015）。

『チームラボって、何者？』がマガジンハウスより刊行（2013年12月19日）。

現在、ハウステンボス（長崎）にて新作「呼応する木々」を発表（~10月30日）、『Garden of Unearthly Delights: Works by Ikeda, Tenmyouya & teamLab』（アメリカ/ニューヨーク）で新作含む5作品を展示（~2015年1月11日）、『チームラボ 踊る！アート展と、学ぶ！未来の遊園地』（東京）にて、デジタルアート作品と「チームラボ 学ぶ！未来の遊園地」を同時展示（~2015年3月1日）など。

今後の予定として、「Prudential Eye Awards 2015 Exhibition」にて、「花と人 - Dark」を発表(2015)、「MAISON&OBJET PARIS」にて、「teamLab Future Cafe Space -World Unleashed and then Connecting-」を発表(2015)、など。

チームラボ作品紹介

<http://www.team-lab.net/>

#### ■本件に関するお問い合わせ

チームラボ（広報担当・工藤/江城/森）

lab-pr@team-lab.com

03-5804-2633